

令和2年(2020年)12月7日(月) 1年GS課題探究基礎講座「産業社会と人間」
2年GS課題探究基礎講座「総合的な探究の時間」
第2回 能勢町×能勢分校連携講座

講師：川又孝太郎氏 環境省環境再生・資源循環局事業担当参事官
テーマ「能勢版シュタットベルケ、脱炭素社会」

1年生は、まず、生徒が自然エネルギーについて「水力発電」「バイオマス」「太陽光」「地熱発電」の4グループに分かれて発表し、川又さんからアドバイスをいただきました。その後の川又さんの講義『生可能エネルギーの時代』では、ドイツと日本のエネルギー政策の比較から、日本でのエネルギーの地産地消、未来のエネルギー政策の在り方についての内容でした。講義後に川又さんを囲んで振り返りを行いました。生徒から質問を投げかけ、そこでいただいた答えをさらに来年度の「プレ課題探究GS」で掘り下げていき、来年度の川又さんの講義でその成果を見ていただく予定です。

2年生は能勢版SDGs「NOSEDGs」「能勢を「持続可能なまちにする」ための4つのゴール」を考え、持続可能な町にするための目標について発表しました。発表後は、「地域のエネルギー資源を用いた地域の活性化」について川又さん講義を受けました。ドイツにおけるエネルギー史から始まり、日本における自治体新電力について脱炭素社会に向けてやるべきことを語られました。世界におけるエネルギー利用から、地域資源を用いた地域活性化や地域における再生可能エネルギーの可能性など、グローバルな内容でした。これから脱炭素社会に向かう世界の中で、再エネの活用、自治体新電力での地域の活性化、気候変動の影響と対策の意義などを考える貴重な講義の時間となりました。この研究は3年時の「課題探究GS」へと続いていきます。



